

中国駐名古屋総領事館の方が本校訪問を訪問されました

令和6年11月20日（水）

11月20日（水）の午前に、中華人民共和国駐名古屋総領事館（以下、総領事館）の関 長空（カン チョウクウ）領事と、潘 樹孟（ハン ジュモウ）副領事が本校を訪問されました。

総領事館とは、6月に津島市が提携している8つの領事館を本校の職員が訪問したことがきっかけで、交流が始まりました。9月には「日中青少年漫画コンクール」に本校職員が招待されました。そういう取組を継続する中で、今回の訪問が実現しました。

ご両名は、本校の状況を理解し本校とどのような協同的な取組ができるのかを検討するために、学校の施設や授業を見学されました。

2年生の授業では、小学校の出前授業で行うアクティビティーを模擬授業形式で行っているところを見学されました。そこでは、中国から短期留学している生徒や中国語を話すことができる生徒と、直接お話をされました。

1年生の授業では、ポスターセッションの様子を見学されました。生徒たちが各グループで作成したポスターを、英語を使ってプレゼンテーションしている姿に興味深く見学されていました。

今回の訪問で、本校からは、中国の高校との姉妹校提携やオンライン交流、総領事館の生徒による訪問について検討していただくようお願いしました。総領事館からは中国の伝統的な楽器の演奏などを本校体育館などでできないかという提案があり、今後の検討事項として確認しました。

これからも津島高校は他では体験できない国際理解教育を提供できるように準備をすすめてまいります。ご期待ください。

教頭 金澤 学

